

# ヌマガヤツリ

Cyperus glomeratus L.

## カヤツリグサ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 該当なし

### 選定理由

もともと稀少な種であるが、今回の調査では3ヶ所の確認報告があったのみ(七尾市鶴浦町の記録は1980年代の標本によるもの)。(現況:R-)

### 形態

高さ40~80cmと、カヤツリグサ類では大型になる。花序は長短の枝の先に多数の小穂を密生する。

### 国内分布

本州(宮城県以南)。

### 県内分布

外浦区(志賀町富来地区)、中能登区(能登島、七尾市鶴浦町)、加賀中央区(白山市美川)。

### 生態など

一年草。頻繁に攪乱を受けるような不安定な立地を好むようである。

### 生育環境

海岸の後背湿地、河川敷、水田わきなど低地の水湿地に生える。

### 危険要因

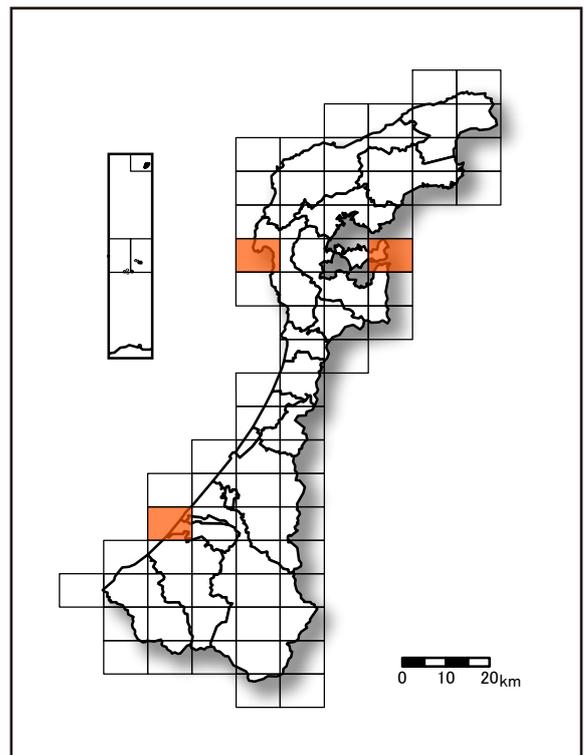
踏みつけ、農薬汚染、土地造成、産地局限。本県の生育地はいずれも人里地域にあり、個体群の存続が危ぶまれる。

### 特記事項

生育地の一部は能登半島国定公園内にある。



小野ふみゑ・2005年10月9日・志賀町



県内の分布